

大阪市民教育研究所開所記念あいさつ

平成 24 年 10 月 6 日
財団法人大阪市教員会館理事長
大阪市民教育研究所所長
元大阪大谷大学教授
田中 孝治

ご参加いただきました皆様には、平素から財団法人大阪市教員会館の円滑な運営と充実発展のために格別のご高配を賜っておりますことに、まずもって御礼申しあげます。

また、本日はご案内申しあげました通り、大阪市民教育研究所の開所を記念し、講演会及び懇談会を開催いたしましたところ、大変ご多用の中、しかも休日にもかかわりもせず、大阪市教育センター首席指導主事の泉野様、大阪市教育振興公社理事長・前こ青局長の森様、さらに、東京から教育総合研究所前副所長の前田さまはじめ、多くの教育関係組織の代表者の方々のご臨席を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、大阪市教員会館は従来より教育・文化事業を中心に運営を図ってまいりました。元をたどれば、昭和 28 年の設立当時の建設理念に「文化国家の建設の基礎は、一にかかって教育の振興によるものである。…国家 100 年の大計のために、今こそ教育の充実に全力を注がねばならない…」と掲げております。

以来一貫して、大阪市の教職員の信託を受け、大阪市、大阪市教育委員会のご支援のもとでその目的遂行のために時の理事・評議員が中心となって鋭意努力を重ねて参りました。

ただ、今期法人の認定等に関する法律の規定に基づき、非営利型の一般財団法人への移行を申請するに当たり、この制度に対応するため、財団のこれまでの教育文化事業を、大阪市民教育研究所として再編整備し、一層事業の拡充を図ることにいたしました。

事業内容や拡充のいくつかの例をあげますと、

- ① 9 月 1 日に、当研究所事務局及び教育支援室等をアネックスパル法円坂の 2 階に開設し、教育研究団体への支援活動を行い、また教育相談室ではすでに主として発達障がいの子どもと保護者の相談を個別に行っているところです。
- ② 付随して従来から開設しております、法円坂教育青年文庫の整備と書籍のリスト化をおこないつつ、閲覧室を活用しての日本語教室の支援を引き続き行っております。
- ③ 美術運営委員会の協力のもとで、すでに 50 年を超える歴史、伝統のある児童生徒作品展、並びに日中児童作品展の開催。
- ④ 日中露三国六地作品展の一層の充実・開催。
- ⑤ 市民ギャラリーの充実では、芸術文化情報はもとより、東日本大震災支援の相

互交流によって生まれた、岩手から届いた手紙や絵画の「ありがとう展」、重慶文史館所蔵の書や絵画の展覧会、あるいは春・夏・秋・冬の習いごと広場関係の作品展などを開き、広く市民の皆様にも見ていただいております。

⑥ さらに、さきほどオープニングですばらしい演奏を行っていただきました大阪市ユースオーケストラのコンサートへの後援、支援活動やその他の教育文化事業に関する講演会、セミナー、講習会などを主催、共催、あるいは後援を行うことにしているところでございます。

これらは全て、現財団法人、そして来年4月1日付で移行する予定の一般財団法人の趣旨に沿う公益を目的とする事業展開であることをご理解いただければ幸いに存じます。

なお、この研究所の運営に関しては運営委員会を設置していますが、大阪市の教育関係団体の代表者ととも、外部から大学の先生2名にも参画していただいていることを申し添えます。

ともあれ、本日ここに新法人への移行を見据え、60年前に提唱された教育文化の大切さを新視点でさらに継承発展させるための新たな第一歩を踏み出す記念の日としたいと考えております。

そのためにも今後は、なお一層急激な変化を遂げている国際化の視点での活動も求められています。

すでに、第6回目となる三国六地展覧会の開催やミャンマーの教育・文化に関する交流教室等を行っているところですが、今日はこのあと「異文化を知る、自分を知る」との演題で、NPO法人クロスカルチャーメディア専務理事のラジャ・ラトナ・スタピット様のネパールの文化に関する講座を開かせていただくことにしておりますし、講演会の後ネパール料理を味わって頂きながらの懇談会を用意して国際理解を深める一助にさせていただくことにしておりますので最後までよろしく願いいたします。

以上、大阪市民教育研究所の開所にあたり、その趣旨・目的・事業内容の一端を紹介させていただきました。

今後とも、ご支援とご助言を賜ります様お願い申し上げましてご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。